発　行
令和5年 12 月 22 日
第 5 号

高体連新聞

発 行 者
奈良県高等学校体育連盟
〒636-0343
奈良県磯城郡田原本町秦庄 22-1
奈良県立教育研究所内
TEL･FAX 0744-33-8101

第 15 回 奈良県高等学校体育連盟研究大会

スポーツがもたらす夢と希望 ～未来を切り拓く 部活動のチカラ～

令和5年 12 月6日　於:奈良県立教育研究所大講座室

令和五年十二月六日（水）第十五回奈良県高等学校体育連盟研究大会を奈良県立教育研究所において開催しました。

本研究大会は、奈良県高等学校体育連盟及び中学校体育連盟に加盟する学校の部活動指導者の資質向上を図り、奈良県中高校生世代における競技力の向上・普及を図ること、また、日ごろの各競技専門部における研究成果を発表するとともに、当面する諸問題について情報交換し連携を図りながら、高等学校・中学校教育の一環として部活動の振興・発展に資することを目的として開催しています。

今年は、「『スポーツがもたらす夢と希望』～未来を切り拓く 部活動のチカラ～」を大会主題として、信州大学学術研究院（教育学系）教授の結城匡啓氏の講演と少林寺拳法専門部及び日本拳法専門部の研究発表を行い、県内各中学校・高等学校から一六二名の先生方が参加し研鑽を深めました。

講演　信州大学学術研究院(教育学系) 教授　結城　匡啓　氏

スピードスケート金メダリストへのコーチングをふりかえり
～選手の力を最大限に引き出す～

結城 匡啓氏 信州大学学術研究院（教育学系）教授
専門分野：スポーツバイオメカニクス、コーチング論、トレーニング論
競技歴：1992 年スピードスケートワールドカップ 500m3 位
指導歴：スピードスケートオリンピック金メダリスト清水宏保、小平奈緒他数多くの選手を指導

研究発表１「部活動の活性化」少林寺拳法競技の活性化を目指して

少林寺拳法専門部　一条高校　松本　悠真　先生

研究発表２「競技力の向上」日本拳法 NIPPON KEMPO 競技力向上を目指して～現状と展望～

日本拳法専門部　青翔高校　本庄　葵　先生

～参加者のアンケート抜粋～

○ 世界トップレベルの視点から選手、指導者の取り組みとして、具体的な内容のご講演をいただき、多くの発見がありました。非常に理論的でありながら、人の心の有り様や感情の部分など、人間らしさもしっかりと踏まえられており、今後の生徒との関わりにおいて活かしていきたいと思います。

○ 理屈を自分のものにして取り組むことの大切さ、伸びる雰囲気をつくることの大切さを改めて学びました。うまくいっていない人の言動に気づく力、それに向き合い、寄り添う力をつけていきたいと思いました。自分の気づき、コツ、感覚、学びを人に伝えることが、さらに深い学びに繋がることに気づきました。

○ 大変貴重なお話を伺うことができ、ありがとうございました。部活動指導において、様々なスポーツ理論を用いながら、選手に合った方法を作り出していくことは、難しいことではありますが、意味のあることだと再認識しました。コツを言語化することの大切さを感じていたこともあり、ノートづくりや発表会など具体的な実践例が印象的でした。また、個人競技ではあるものの、互いに高め合うチームづくりが選手の競技力や人間としての成長を促すことにつながるということに感銘を受けました。指導者として心掛けることは大変参考になり、私自身部活動指導にいかしていきたいと思います。

○ 少林寺拳法からは、専門外にもかかわらず頑張っておられる発表に刺激を受けました。日本拳法からは、専門の指導者が、見通しを立てて奈良県全体を一つのチームと考えておられる姿勢に新鮮な驚きを受けました。どちらの発表も動画スライドのおかげもあって、大変わかりやすいものでした。

○ 少林寺拳法の研究発表では、部活を増やすための課題（活動）が私自身が行っている種目と共通する部分も多く、とても共感しました。日本拳法の研究発表でも高校３年間（中・高6年間）での競技力を向上させるため、また普及という点でも他校との交流や地域との連携を充実させることの大切さを改めて感じました。